

鹿 児 島 県

地域包括支援体制人材育成事業

1 目的

市町村が、複合化・複雑化した課題や制度と制度の狭間の問題を抱える世帯に対する多機関・多分野協働による包括的相談支援体制を構築する上で、市町村において必要となる人材（相談支援包括化推進員）の育成

【相談包括化推進員】(人材イメージ)

- ① 各種相談から適切な相談先・支援内容の見立てができる。
- ② 支援調整の組み立てができる(各相談支援機関とのネットワークを持っている)。
- ③ 地域資源の開発ができる(法的な支援だけでなく、地域による支援につなげる等)。

2 主催

鹿児島県(社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会に委託)

3 事業実施期間

令和3年度より3か年で実施予定(平成30年度～令和2年度の3か年も実施)

4 講座実施対象地区

7地域振興局・支庁単位で3年かけて順次開催

- ・ 令和3年度：鹿児島地域、熊毛地域
- ・ **令和4年度：始良・伊佐地域、大島地域**
- ・ 令和5年度：南薩地域、北薩地域、大隅地域

5 受講対象者

主に市町村単位で設置されている既存の包括的相談支援機関の相談支援員等で、市町村が候補者となり得る者として推薦した者

1

地域包括支援体制人材育成事業

(想定される受講対象者)

- ・ 生活困窮者自立相談支援機関の相談支援員
- ・ 地域包括支援センターの保健師・ケアマネージャー又は生活支援コーディネーター
- ・ 障害者基幹相談支援センターの相談支援専門員
- ・ 子育て世代包括支援センターの保健師・母子保健支援員 など

6 定員

各地区40名程度

【令和4年度申込み状況】

(1) 始良・伊佐地域振興局管内:38名

(霧島市1名、伊佐市3名、始良市5名、湧水町2名、鹿児島市15名、鹿屋市2名、志布志市7名、阿久根市2名、奄美市1名(注))

(2) 大島支庁管内:57名

(奄美市6名、宇検村1名、瀬戸内町5名、龍郷町9名、天城町1名、和泊町4名、知名町3名、鹿児島市12名、鹿屋市1名、阿久根市1名、出水市1名、志布志市3名、霧島市2名、肝付町2名、中種子町5名、宇検村1名(注))

※注:欠席した講座について、次年度以降の他地域対象の講座を受講可能とし、全6回の講座を全て受講した者について修了証書を交付している。
また、対象地域外でも希望があれば、受講を認めている。

7 受講料

無料

8 修了証書の交付

全6回の講座を修了された受講者に対して、県知事の修了証書を、第6回の閉講式において交付

2

令和4年度 鹿児島県相談支援包括化推進員養成講座(全6回:カリキュラム)

回数	期日	時間	カテゴリ	内容(項目)		単位
開講式 第1回	令和4年 7月25日	10:30～10:45	個別 支援		開講式	
		10:45～12:15		講義①	記念講演「生活困窮・社会的孤立者に対する相談支援」	1
		13:15～15:15		演習①	グループ演習(同上)	1
第2回	令和4年 8月17日	10:00～11:00	事例 検討 (高齢)	講義②	権利擁護について考える	1
		11:10～12:10		講義③	地域包括ケアシステム・地域共生社会の実現～重層的支援体制の構築～	1
		13:10～15:10		演習②	複合的な困難事例検討(高齢)	1
第3回	令和4年 11月15日	10:00～11:00	事例 検討 (障害)	講義④	障害者の地域生活と地域移行	1
		11:10～12:10		講義⑤	相談業務から見たひきこもりへの対応	1
		13:10～15:10		演習③	複合的な困難事例検討(障害)	1
第4回	令和4年 12月6日	10:00～11:00	事例 検討 (児童)	講義⑥	ライフステージにおける児童福祉と母子保健	1
		11:10～12:10		講義⑦	発達障害への理解	1
		13:10～15:10		演習④	複合的な困難事例検討(児童)	1
第5回	令和5年 1月19日	10:00～12:00	地域 支援 他	演習⑤	これからの「まちづくり」を考えるいくつかのヒント	1
		13:00～15:00		演習⑥	経験から生まれる地域支え合い	1
第6回 閉講式	令和5年 2月15日	10:00～12:00	地域 支援	演習⑦	「支え合いマップ」を活用した地域援助	1
		13:00～14:30		演習⑧	講座のまとめ、目標設定	1
		14:40～14:50	総括		開講式	

令和4年度受講者アンケート(第1回, 第2回抜粋)

- ・ 講師の方の事例を通して、伝えたいことが明確に理解でき、大変学びのある講義だったと思います。もっといろいろな話を聞いてみたいと思わせてくれる内容でした。
- ・ 講義で学んだことを演習で活かせることができたと思いました。生活困窮者について知らないことも多くあり、色々な支援があることを学ぶことができました。
- ・ 直接相談窓口に関わっている人が多いようだったので、色々な人の受付時に気をつけていることや、失敗談も聞いてみたいと思った。
- ・ とてもわかりやすくこれまでの多くの経験や事例をもとにしながら支援者が相談者とどう向き合うかについて学ぶことができました。時代の変化をみながら、支援のあり方、つなぐ力が大事だと感じました。
- ・ 自分達の都合で相手が「たらい回し」になっているのでは?等、大切な支援方法を学びました。
- ・ 支援をしていると今あるものを使うことに頭が向いてしまうため、大きく問題をとらえるのが難しかったです。勉強になりました。
- ・ 楽しい講座でした。相談支援の本質について、非常にわかりやすく普段の自分自身の相談支援について振り返ることができました。枠を超えた視点は、自分自身が普段から多面的な視点を持つ癖付けが大切だということも気づくことができました。